

生活指導部だより

町田市立忠生中学校

生活指導部

2025年7月7日

地域社会で起こる犯罪や危険を理解しよう

喫煙行為が大麻の入り口に！

薬物乱用防止に向けて正しい知識を身につけよう！

近年、若者を中心とした大麻の乱用拡大が問題になっています。乱用するきっかけとして「大麻は他の薬物より安全、害がない」などの誤った情報をうのみにして、軽い気持ちで大麻に手を出すことが多いようです。都内の公園で大麻グミやクッキーが配られ事件になったことも記憶に新しいと思います。大麻を中心とした違法薬物はインターネットを通じて簡単に手に入ってしまう、身近な存在で大変危険です。

クッキーやグミ、キャンディー型、電子タバコ型（リキッドタイプ）などの大麻も流通しているといわれています。喫煙経験のある子供の場合は、たばこを吸う行為が大麻を吸うことへ変わっただけだと思い、大麻に対する抵抗感が低くなる傾向にあります。強い副作用や依存性のある薬物の使用への入り口となるため注意が必要です。薬物乱用が心身の健康を生涯にわたってそこなう危険な行為であるということ、所持しているだけで法に触れるということを理解しましょう。

SNS に潜む 違法薬物売買

SNS上では驚くほど堂々と薬物売買が行われていますが、「大麻を売る」などとは書かずに隠語を使ってやり取りされています。

#野菜：大麻のこと

#手押し：対面販売のこと

#リキッド：大麻リキッドのこと

#アイス：覚醒剤のこと

この単語をSNSで見ても絶対に接触しないこと！

大麻を始めた動機

20歳未満の若者は 好奇心・興味本位やその場の雰囲気の流れ、安易に大麻に手を染めてしまうことが懸念されます。（警視庁調べ2019）

好奇心・興味本位	64.0%
その場の雰囲気	21.3%
音楽イベントなどの高揚感	4.4%
多幸感・陶酔効果を求めて	3.7%
ストレス・現実逃避	2.8%
その他	2.8%



大麻取締法での罰則（例）

所持・譲渡・譲受

→ 5年以下の懲役

輸入・輸出・栽培

→ 7年以下の懲役

オンライングルーミングに注意しよう

現在、都内の中学校では、相手に脅されたり騙されたりして自ら撮影した裸の画像をメールなどで送ってしまう「自撮り被害」や SNS によるグルーミング被害など、性に関するトラブルの報告があがっています。

オンライングルーミング*とは、わいせつ目的で子供に SNS やゲームアプリを通して接近し、信頼や好意を利用して手なずけていく行為のことです。例えば、最初は SNS 上でやり取りをしていた信頼できる人が、実は年齢も性別も偽っていて、最終的に写真や動画を求めてくるという手口です。近年、中高生の被害が急激に増加しているようです。

*groom：（人のある行動に）仕向けるという意味

自撮り被害に遭った児童・生徒の推移

中学生の被害者数は高校生の被害者数を上回っています。



オンライングルーミングの恐怖

オンライングルーミングの怖いところは、自分が被害者であることに気づかない場合があることです。被害者にとっては、相談に乗ってくれる理解者であり好意を寄せる存在なので、周りに助けを求めるのが遅れたり言いなりになったりしてしまうことがあります。

オンライングルーミングの被害にあわないために

- ① たとえ同性、同年齢で写真があっても疑う（SNS 上では簡単に偽ることが可能です）
- ② どんな写真や動画でも絶対に送らない。（場所の特定につながることもあります。）
- ③ SNS 上だけで知り合った相手とは絶対に会わない。（相手の本当の姿はわかりません）

保護者のみなさまへ

オンライングルーミングは、知らず知らずのうちにその被害に遭っていることが多く、普段からご家庭で SNS の犯罪について話をしておく必要があります。例えば、行われている手口や自分もターゲットになる可能性があること、被害にあったときに相談する機関など親子で共通認識をもつことが大切です。

また、近年地下アイドルと呼ばれるグループによるライブ活動に熱中するあまり、家庭から多額の現金を抜き出したり、「パパ活」や援助交際により現金を得たりするというケースが都内の中学校で見受けられます。年齢の離れた異性のファンとのつながりや、配信者のオフ会（オフライン会）としてホテルを利用し被害に遭うケースもあります。万が一被害にあった場合には、「どんな写真を送ったのか」「どんなサービスを使ったのか」「なにか要求されていることはあるか」など、事実を確認し、すぐに警察へ相談してください。学校でも SNS の使い方の指導をしますが、ご家庭でも見守りとご指導のご協力をよろしくお願いします。